【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506426(P2005-506426A)
【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-009
【出願番号】特願2003-538248(P2003-538248)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｋ　9/08　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ 101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｋ　9/08
Ｃ０８Ｌ 101/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月3日(2005.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
助剤物質の補助を得て互いに結合した、平均サイズ０．１ないし５０μのメラミンシアヌレート凝集体（ａｇｇｒｅｇａｔｅ)からなる易流動性難燃性メラミンシアヌレート凝集物（ａｇｇｌｏｍｅｒａｔｅ)であって、前記助剤物質は、前記凝集物の総重量に対して、０．１ないし１０重量％の濃度で存在し、４０℃より高い溶融温度又は軟化温度を有する有機助剤物質であることを特徴とする易流動性難燃性メラミンシアヌレート凝集物。
【請求項２】
前記有機助剤物質が、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、ポリビニルカプロラクタムによって形成される系から選択されることを特徴とする請求項１記載の凝集物。
【請求項３】
メラミンシアヌレート凝集体及び助剤物質を含むスラリーを噴霧乾燥させる請求項１又は２に記載の凝集物の製造方法であって、前記噴霧乾燥したスラリーから形成された凝集物の一部を前記噴霧乾燥したスラリーに再度接触させること、及び前記助剤物質が４０℃より高い融点又は軟化点を有する有機助剤物質であることを特徴とする方法。